

保管用

施工説明付き

保証書別添付

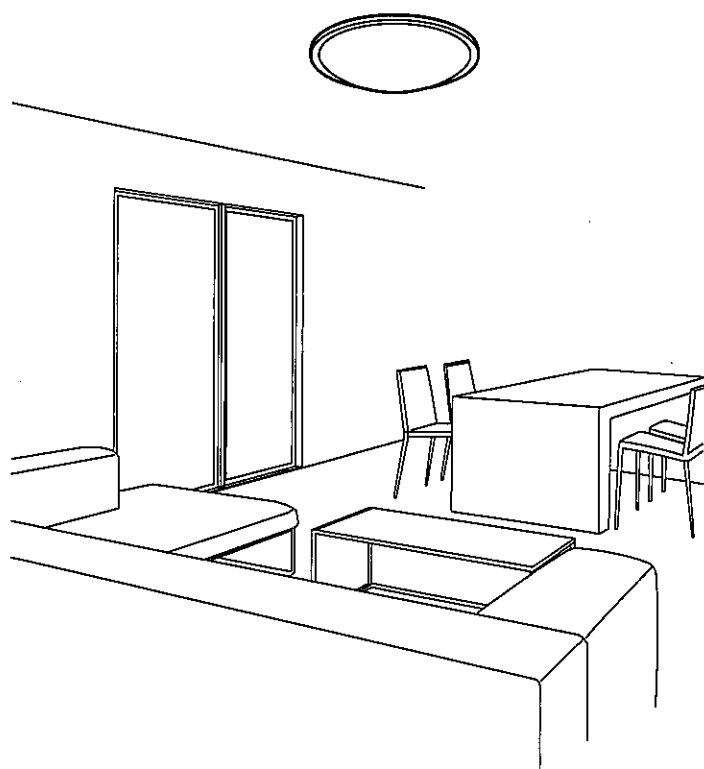
Panasonic®

取扱説明書

住宅用照明器具 (シーリングライト)

ツインPaシリーズ

※対象品番は裏表紙の仕様欄を
参照ください



※イラストはイメージです。

お客様へ

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。

■取扱説明書をよくお読みのうえ、
正しく安全にお使いください。

特に、ご使用前に「安全上のご注意」(2~3ページ)を
必ずお読みください。

保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず
確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

工事店様へ

■この説明書は必ずお客様にお渡しください。

もくじ

安全上のご注意	2
各部のなまえと付属部品	3
照明器具を取り付ける	4
照明器具を取り外す	5
あかりをつける・消す	6
リモコンの便利な使いかた	7
お手入れ・ランプ交換	8
ご使用上に関するお知らせ	8
故障かな?と思ったら	9
仕様	裏表紙
保証とアフターサービス	裏表紙

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。(下記は図記号の一例です。)

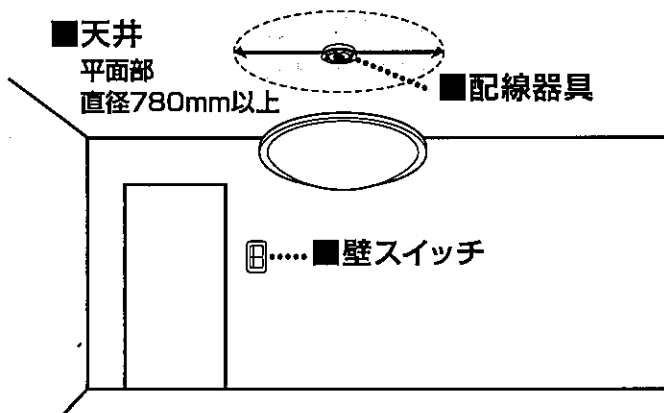
警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

注意 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

  してはいいけない内容です。

 実行しなければならない内容です。

警告



■天井

 ●必ず上図のような平面部の直径が780 mm 以上の天井に取り付ける
必ず守る 落下によるけがのおそれがあります。

●凹凸のある場所に取り付けない
落下によるけがのおそれがあります。



 ●傾斜した場所に取り付けない
火災、落下によるけがのおそれがあります。
※木ネジを使用した場合は、傾斜天井(55度以下)に取り付けできます。傾斜天井(55度以下)に取り付ける場合は必ず木ネジと支持具で器具を取り付けてください。

◎この器具は天井面取り付け専用です。

■配線器具

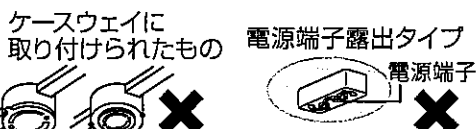
●がたついたり、破損している配線器具(ローゼット・引掛シーリング)には取り付けない

火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。 がたつき・破損

●適正な状態にない配線器具には無理に取り付けない
落下によるけがのおそれがあります。

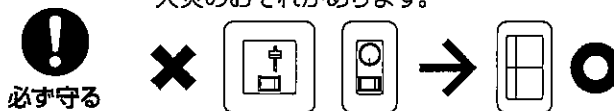
出ししろの少ないもの

 禁止



■壁スイッチ

●調光機能が付いた壁スイッチの場合は、一般の入切用スイッチに交換する
火災のおそれがあります。



◎販売店、工事店に交換を依頼してください。(取り外しには資格が必要です。)

■その他

●器具を改造したり、部品交換をしない
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

 分解禁止

 必ず守る

●交流100ボルトで使用する

過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。

●異常を感じた場合、速やかに電源を切る
異常状態が収まったことを確認し、販売店またはお客様ご相談窓口(保証書内在中)にご相談ください。

⚠ 注意



必ず守る

- 照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください

点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、感電、落下などに至る場合があります。

- ◎1年に1回は「安全チェックシート」(保証書内在中)に基づき、自主点検してください。

- 付属の梱包材は取り除いて使用する。そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。

- カバーは確実に取り付ける。落下してけがの原因となることがあります。



接触禁止

- 点灯中や消灯直後はランプやその周辺にさわらない。やけどの原因となることがあります。

- ◎お手入れやランプ交換は電源を切り、ランプやその周辺が冷めてから行ってください。



水ぬれ禁止

- 浴室など湿気の多い場所や屋外で使用しない。火災、感電の原因となることがあります。

- ◎この器具は防湿、防雨型ではありません。



禁止

- 温度の高くなるものを器具の真下に置かない。火災の原因となることがあります。

- ◎器具の真下にストーブなどを置かないでください。

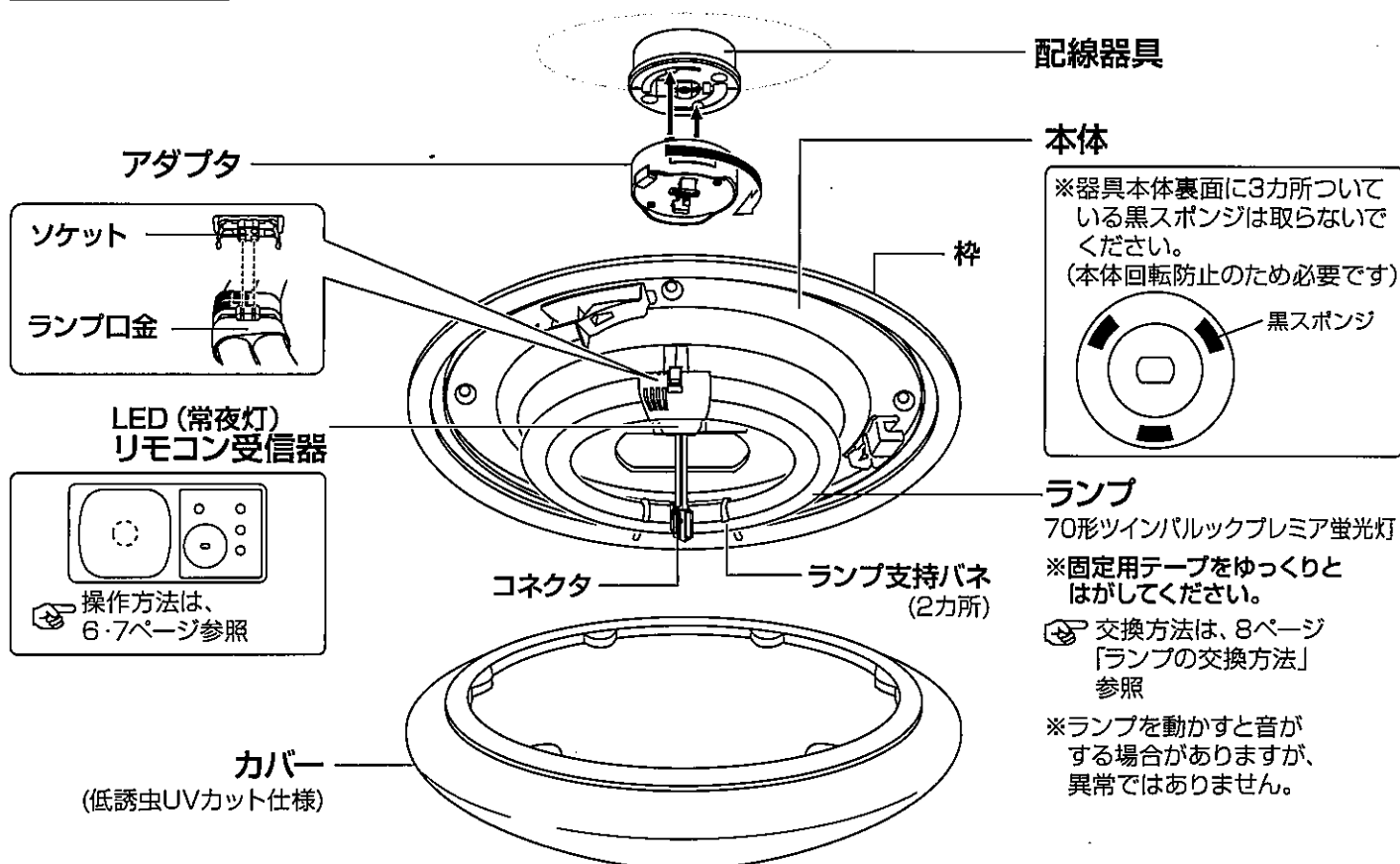
- 枠を持って器具を持ち上げない。器具破損の原因となることがあります。

- カバーを回して外す時は枠を持って回さない。本体が落下してけがの原因となることがあります。

各部のなまえと付属部品

施工する前にまず付属部品をご確認ください

照明器具 (器具形状は品番により異なります)



本体取り付け用 付属部品

アダプタ (1個)

補修品番
NZ2716M



配線器具

丸型フル引掛シーリング (1個)



●配線器具がない、または交換が必要な場合にお使いください。

引掛シーリング用

木ネジ (2本)



支持具

(2個)



- 傾斜天井 (55度以下) に取り付ける場合にお使いください。

照明器具を取り付ける

安全のため、電源を切ってから行ってください

※必ず壁スイッチと併用してください。☎ 8ページ「ご使用上に関するお知らせ」参照

1 天井についている配線器具を確認する ※傾斜天井(55度以下)に取り付ける場合、5ページをご覧ください。

下記以外の配線器具の場合、
配線器具が設置されていない場合、
取り付けできません。

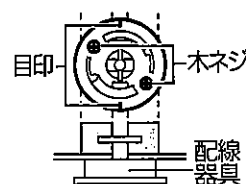
◎販売店、工事店に同梱の配線器具への
取り替え、取り付けをご依頼ください。

※工事には資格が必要です。

警告



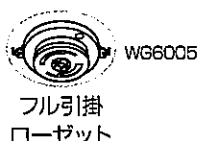
目透かし天井へ取り付けの場合は、目透かし
の方向に目印を合わせて取り付け
必ず守る 落下してけがのおそれがあります。



天井に下図のような配線器具が付いている場合、取り付けできます。 2の作業へ進んでください。



WG5005
WG5015



WG6005



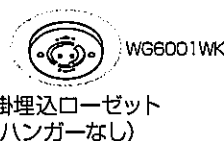
WG1000



WG4000
WG4420
WG4425
WG1500



WG6000
WG6420
WG6130



WG6001WK

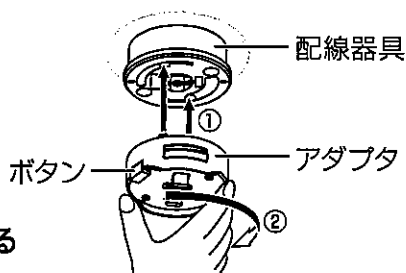
天井からの出しが 22 mm の配線器具

天井からの出しが 11 mm の配線器具

2 天井の配線器具にアダプタを取り付ける

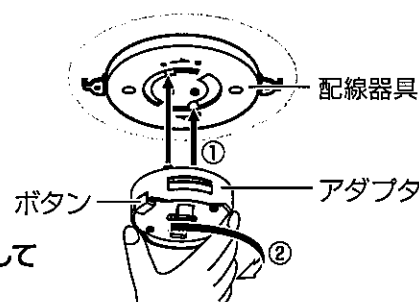
①位置を合わせる

②カチッと音が
するまで
アダプタを右に
回して取り付ける



確認

ボタンを押さずに左に回して
外れないことを確認する

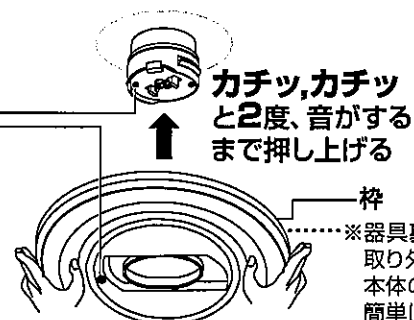


3 本体を押し上げて取り付ける

◎取り付けの際、ランプを持たないでください。

①印(黒丸)を
合わせる

②カチッと音が
するまで本体を
押し上げる

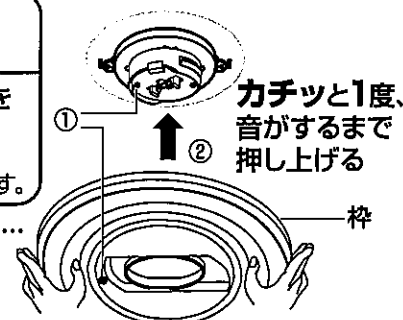


注意



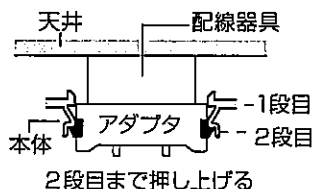
枠を持って器具を
持ち上げない
器具破損の原因と
なることがあります。

※器具裏面の黒スポンジは
取り外さないでください。
本体の固定ができなくなり
簡単に回転します。

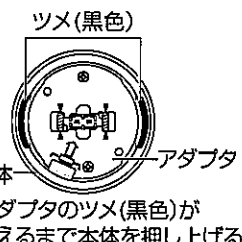


●アダプタの本体取り付け位置

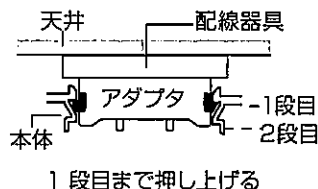
横から
見た図



下から
見た図

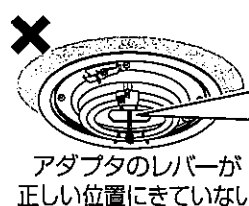
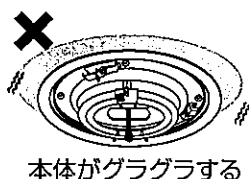


横から
見た図

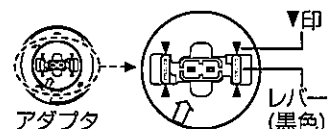


確認

本体が正しく
取り付けられ
ているか必ず
確認する。



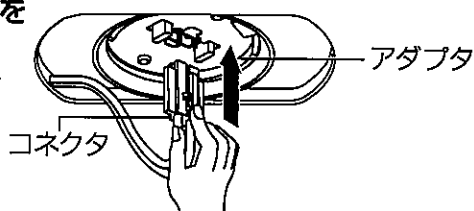
レバーと▼印が合っていると
コネクタは接続できます(下図参照)



上図の場合、正しく取り付けされていないので2を再度行ってください。

4 コネクタをアダプタに差し込む

コネクタを
確実に
差し込む



確認

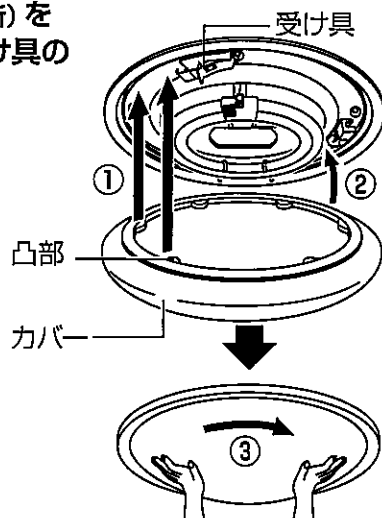
- コネクタが差し込めない場合は
本体が正しく取り付けられていません。
→差し込めない場合は、前ページ**3**に戻る。
- 引っ張って、コネクタが抜けないことを確認する。

5 カバーを取り付ける

①カバーの凸部 (2カ所) を
本体の受け具と受け具の
間に合わせる

②カバーを
持ち上げる

③カバーを
止まるまで
右に回す



⚠ 注意



カバーは確実に取り付ける
落下してけがのおそれがあります。

確認

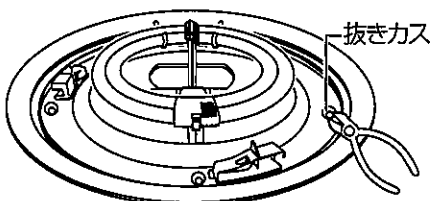
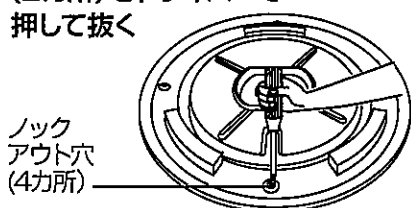
バランスを見て、カバーが水平に
取り付けられていることを確認する。
→水平ではない場合は、カバーを左に
回して外し、再度、**5**を行う。

傾斜天井 (55度以下) に取り付ける場合

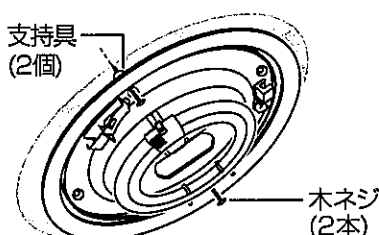
①本体の対向するノックアウト穴
(2カ所)をドライバーで
押して抜く

②ニッパーで抜きカスを切る

③対向するノックアウト穴に木ネジ※
2本で支持具 (2個) を取り付ける



④**1**～**4**を行
なった後、木
ネジ※2本で
補強材のある
場所に取り付
ける。



⚠ 警告



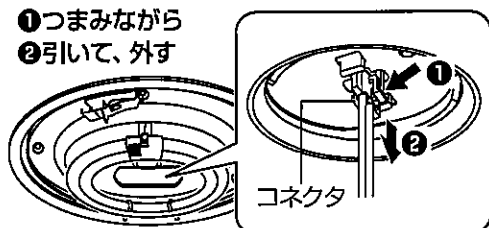
必ず木ネジと支持具で器具を取り付ける
落下してけがのおそれがあります。

照明器具を取り外す

安全のため、電源を切ってから行ってください

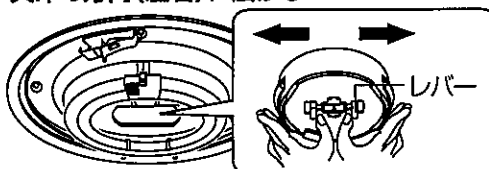
1 コネクタを外す

①つまみながら
②引いて、外す



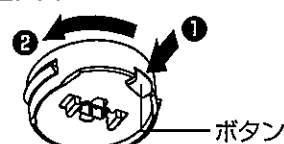
2 本体を外す

本体を支えながらレバーを
矢印の方向 (左右) に広げる



3 アダプタを外す

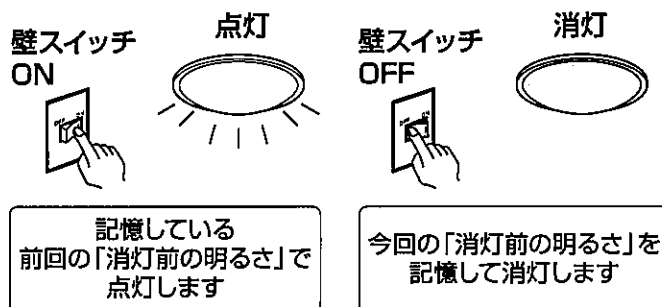
①ボタンを押しながら
②左に回す



あかりをつける・消す

壁スイッチで照明器具を操作する

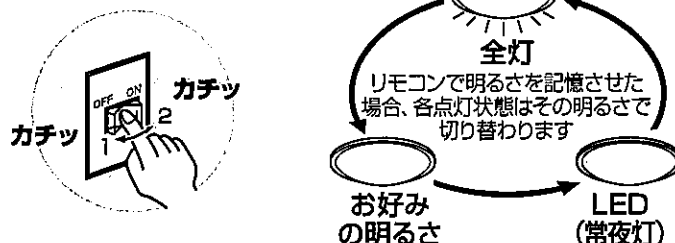
点灯・消灯する



●全灯ボタンで点灯後、「明暗ボタン」で明るさを調節した状態は記憶されません。

点灯状態を切り替える

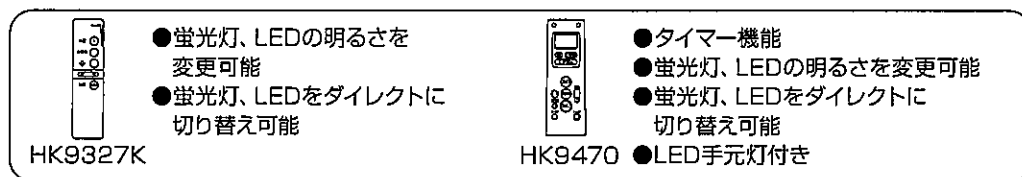
壁スイッチを素早く(約2秒以内) OFF→ONすると点灯状態が切り替わります。



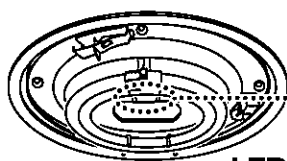
●壁スイッチ1個で2台以上の照明器具を使用しないでください。点灯状態が、同時に切り替わらない場合があります。

リモコン(別売)で照明器具を操作する 壁スイッチはONの状態にしてください。

別売のリモコンで、照明器具の操作ができ、蛍光灯、LEDの明るさが変わります。機種によりタイマーの機能があります。



リモコン受信器(本体)



リモコン受信部

リモコンからの信号を受けます。
※傷つけたり、汚したりしないでください。

リセットスイッチ

動作が異常の場合の初期化などに使用
各種設定を出荷時の初期設定に戻せます。

音切入設定スイッチ

押すごとにリモコン操作時の音を切/入

チャンネル設定スイッチ

器具のチャンネルを設定する場合に使用
☞ 7ページ「複数のリモコン照明器具を操作する」参照

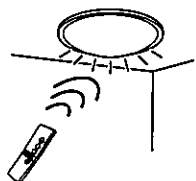
OFF/ONスイッチ

押すごとに消灯/全灯

リモコン(別売) (例)HK9327Kの場合

送信のしかた

必ず「リモコン送信部」
を器具に向けて操作
してください。



リモコン送信部

※傷つけたり、
汚したりしないで
ください。

明暗ボタン

蛍光灯(100~約10%)
LED(6段階)の明るさを
調整
☞ 7ページ
「蛍光灯、LED(常夜灯)
を調光し明るさを記憶
させる」参照

消灯ボタン

チャンネルスイッチ

操作する器具のチャンネル(1~3)を設定
☞ 7ページ「複数のリモコン照明器具を操作する」参照

全灯ボタン

蛍光灯が100%の明るさで点灯
☞ 7ページ「全灯ボタンを押したときの明るさを変更する」参照

お好みの明るさボタン

蛍光灯が明暗ボタンで変更した明るさで点灯
(初期設定: 約60%の明るさ)
※明暗ボタンで100%に変更した場合は全灯と
同じ明るさで点灯します

LED(常夜灯)ボタン

LEDが明暗ボタンで変更した明るさで点灯
(初期設定: 100%の明るさ)
◎太陽光や照明器具の光を蓄えて発光します。

リモコンの便利な使いかた

複数のリモコン照明器具を操作する

照明器具のチャンネルを変更できます

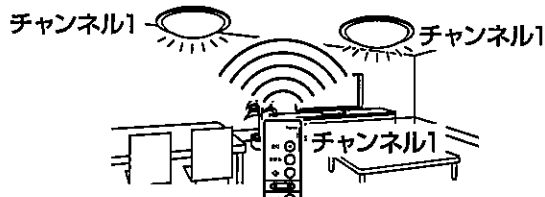
リモコンのチャンネルを切り替えると、1台のリモコンで複数の器具が操作できます。
また、リモコンで器具を操作できない時は、チャンネル設定が正しくない場合があります。

チャンネル設定でできること

- 複数の器具を同時に点灯できます。

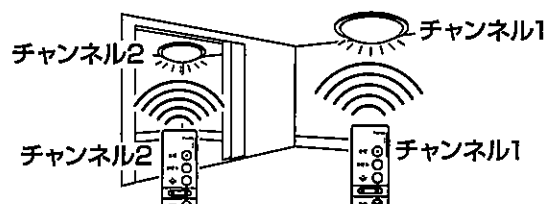
※器具間の距離やリモコン操作の方向により、同時に点灯しないことがあります。

(例) 一部屋に2台のリモコン照明器具がある場合



- 近くの器具を別々に点灯できます。

(例) 隣室にもリモコン照明器具がある場合



- ① **チャンネル設定スイッチ**

リモコン受信器(本体)の「チャンネル設定スイッチ」を押す
- ② **チャンネル**

リモコンの「チャンネルスイッチ」を希望のチャンネルに合わせる
(例: チャンネル2)
- ③ **全灯**

リモコンのいずれかのボタンを押す
→「ピーーツ」と音がして設定完了

蛍光灯、LED (常夜灯) を調光し明るさを記憶させる

- | 蛍光灯 | | LED (常夜灯) | |
|---|---|---|--|
| ① 好み

リモコンの「好みの明るさボタン」を押す | ➡ | ② 暗 明

リモコンの「明暗ボタン」で蛍光灯の明るさを調節する→記憶 | |
| ① LED (常夜灯)

リモコンの「LED (常夜灯) ボタン」を押す | ➡ | ② 暗 明

リモコンの「明暗ボタン」でLED (常夜灯) の明るさを調節する→記憶 | |

- メモ** ●再び上記の操作を行うまでは、記憶した明るさで点灯します。
●「全灯ボタン」で点灯させた後に「明暗ボタン」で明るさを調節しても記憶されません。

全灯ボタンを押したときの明るさを変更する

全灯ボタンを押したときの蛍光灯の明るさを100～約10%の範囲で設定することができます。

- ① **全灯**

リモコンの「全灯ボタン」を押す
- ② **OFF/ONスイッチ**

リモコン受信器(本体)の「OFF/ONスイッチ」を「ピツ」と音がするまで押し続ける
- ③ **暗 明**

リモコンの「明暗ボタン」で蛍光灯の明るさを調節する
- ④ **全灯**

リモコンの「全灯ボタン」を押す
→「ピーーツ」と音がして変更完了

お手入れ・ランプ交換

電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください

- 明るく安全に使用していただくため、定期的（6カ月に1回程度）に清掃してください。
- 汚れがひどい場合は、石けん水に浸した布をよく絞ってふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。

確認

シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、破損の原因となります。

- ランプの明るさが低下したり、点滅をくり返したりするようになると寿命です。ランプを交換してください。

- パナソニック製ツインパルックプレミア蛍光灯をお買い求めください。種類が同じで光色の異なるランプも使用できます。

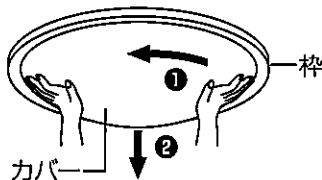
ランプの種類が表示されています



ランプの交換方法

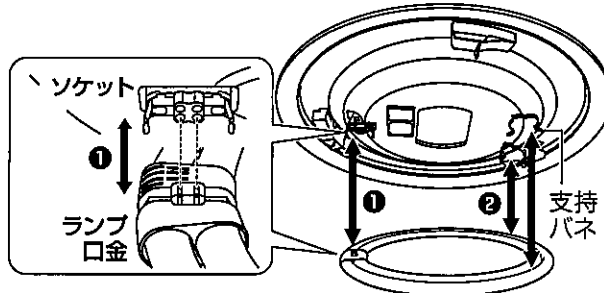
①カバーを取り外す

- ①カバーを止まるまで左に回す
- ②カバーを外す



②古いランプを取り外す

- ①ランプ口金側を外す
- ②支持バネ側を外す



③新しいランプを取り付ける

- ①ランプ口金を確実にソケットに差し込む
- ②支持バネで固定する

④カバーを取り付ける

- 5ページ
「照明器具を取り付ける」
手順5参照

注意

- ❌ 枠を持って回さない
本体が落下してけがの原因となることがあります。

ご使用上に関するお知らせ

故障や異常ではありません

【器具自体の留意点】

- 点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮によるきしみ音が照明器具から発生することがあります。
- 周囲の温度が低いと、蛍光灯が明るくなるまで時間がかかったり、温まるまでちらつくことがあります。また、点灯直後のリモコン動作が悪い場合があります。
- 停電時、停電復帰時などで予期せぬ非常に短時間の停電が発生した場合、点灯状態が変わる場合があります。長時間使わないときは、壁スイッチをOFFにしてください。
- 壁スイッチがないとリモコン送信器の電池が消耗した場合やリモコン送信器を紛失した場合に点灯消灯ができません。
(本体のリモコン受信器の「OFF/ONスイッチ」を押せば消灯/全灯は可能)
- 壁スイッチをOFFしなければ、消灯時も電力を消費します。
- 低誘虫（虫がよってこない）機能は、蚊、ゴキブリなど、光に誘われない虫には効果がありません。
また周囲の光環境によっても効果に差が生じます。

【周囲の影響】

- 器具の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像機器に雑音が入ることがあります。
- 器具のきわめて近くでは、リモコン機器（エアコンなど）のリモコンが動作しにくくなる場合があります。

故障かな?と思ったら

下表に従って点検してください

現 象	考えられる原因	処 置	参照ページ
点灯しない	コネクタが確実に差し込まれていない	①コネクタを一度抜き、…………… ②本体を押し上げてから …………… ③コネクタを再度、差し込む ……………	🔧 5ページ ① 🔧 4ページ ② 🔧 5ページ ③
	ランプ口金がソケットから外れている	ランプ口金をソケットに差し込む	🔧 8ページ 「ランプの交換方法」
	ランプが切れている	ランプを交換する	🔧 8ページ 「ランプの交換方法」
	壁スイッチがOFFになっている または、リモコンで消灯にして 壁スイッチをOFFにしていた	壁スイッチをONにする、または、 壁スイッチを素早くOFF→ONにする	🔧 6ページ 「壁スイッチで照明器具 を操作する」
リモコンで 操作できない	リモコンの電池が消耗している	リモコンの電池を交換する	🔧 お使いのリモコンの 取扱説明書
	リモコンの電池が正しく入っていない	リモコンの電池を正しく入れる	🔧 お使いのリモコンの 取扱説明書
	リモコンと照明器具のチャンネルが 合っていない	リモコンのチャンネルスイッチを 変更して操作する	🔧 7ページ 「複数のリモコン照明器具 を操作する」

上記の処置を行っても 現象が続く場合

- ①電源をいったん切り再度入れる
- ②器具内スイッチのリセットスイッチを押す
- ③器具のチャンネルを変更する 🔧 7ページ「複数のリモコン照明器具を操作する」参照

●上記の点検でなお異常のある場合には、ただちに電源を切り、ご購入の販売店、工事店、お客様ご相談窓口(保証書内在中)にご相談ください。

仕様

付属ランプの品名は、ランプに表示しています。ご確認ください。

☒ 保証書またはカバーのラベルをご参照していただき、品番にチェックをしてください。

品番	使用電圧	周波数	消費電力	ランプ
☐ HFA6069FC / HFA6069FCN	AC100 V	50/60Hz 共用	62W (リモコンOFF時 1W以下)	70形ツインパルックプレミア蛍光灯
☐ HFA6348 / HFA6348N				
☐ HFA6355 / HFA6355N				
☐ HFA6356 / HFA6356N				

●ランプの光色はランプをご参照ください。

保証とアフターサービス よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは…

■まず、お買い上げの販売店へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電 話 () —

お買い上げ日 年 月 日

●保証期間中は、保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。

*修理料金は次の内容で構成されています。

☐ 技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

☐ 部品代 部品および補助材料代

☐ 出張料 技術者を派遣する費用

●アフターサービスについてのご不明な点や修理に関するご相談は、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口（保証書内在中）にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは…

まず電源を切って、お買い上げ日と以下の内容をご連絡ください。

●製 品 名 住宅用照明器具

●品 番 上記「仕様」をご参照ください。

●故障の状況 できるだけ具体的に

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

ただし、安定器については3年間です。

またランプなどは消耗品ですので保証期間内でも「有料」とさせていただきます。

※保証の例外 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間の使用の場合、保証期間は半分となります。

補修性能部品の保有期間 **6年**

*当社はこの照明器具の補修性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。

パナソニック株式会社 インテリア照明ビジネスユニット

〒571-8686 大阪府門真市門真1048 © Panasonic Corporation 2012

HFA6069FC-T3A6

N0307-060812